

令和 7 年 10 月 24 日
作成者：総務課総務法制係

令和 7 年度 第 1 回 市川三郷町行財政改革推進委員会
- 会議録 -

1 日 時 令和 7 年 9 月 25 日 (木) 午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分まで

2 場 所 市川三郷町役場 庁舎 1 階 大会議室

3 出 席 者 【会 長】藤原真史

【委 員】近藤和也 青木志保 石部萬史 一瀬宏行 遠藤玲詩
笠井鈴治 若尾博樹 (敬称略)

【町役場】町長 遠藤 浩

教育長 渡井 渡

統括 (兼財政課長) 一瀬 浩

総務課長 井上靖彦 政策推進課長 渡辺 潤

防災交通課長 丹沢真樹 町民課長 塩沢正也

税務課長 芦沢順司 いきいき健康課長 望月英利

子育て支援課長 相川由美 福祉課長 丹沢美男

介護課長 森川規彦 産業振興課長 望月順二

生活環境課長 渡邊浩志 建設課長 渡辺元樹

議会事務局係長 望月直人 教育総務課長 櫻井 茂

生涯学習課長 武田真一

財政課 坐光寺富仁 総務課 石原一彦

【事務局】総務課 都築雅和 長田勝輝 塩澤克哉

4 会議録署名 笠井委員 若尾委員

5 会議内容 (1) 開会

(2) 町長挨拶

(3) 会長挨拶

(4) 報告事項

(5) 議事 議題 1 行財政改革推進計画アクションプラン進捗状況について
議題 2 その他

(6) その他

(7) 閉会

6 会議経過

(1) 開会 午後1時30分

(2) 町長挨拶

町長の挨拶の内容は、次のとおり。

本日は、行財政改革推進委員会を開催いたしましたところ、ご多用中にもかかわらずご参加賜りご理解とご協力に厚く御礼申し上げる。

本日は、私どもが進めておる行財政改革推進計画アクションプランの進捗および先月開催いたしました有識者公聴会についてご説明申し上げ、委員会を進めていただきたくお願い申し上げる。

令和6年度決算では、実質単年度収支黒字化、経常収支比率においては、令和5年度の財政非常事態発出時における令和3年度98.1%であったものが、速報値ではあります95%以下となり当初の判断値をクリアしたところ。

令和7年度についても更に22人の職員削減による人件費、7500万円余の物件費、2億6500万円余の一般行政経費削減に加え、新たに、金融面においても基金運用や繰り上げ償還の実施により財産収入の獲得のほか、使用料・利用料の適正化により4200万円余の一般財源からの負担抑制などを実施している。

人件費、物価高騰、金利等の新たな社会要因や人事院勧告に対応した場合であっても令和7年度末まで、実質単年度収支黒字化、経常収支比率の判断値はクリアできるものと考えている。

今後も、持続可能な自治体であるための行財政改革には取り組む一方、ただいま推進中の企業誘致や各団体との連携による成長戦略、関係者人口戦略をプラスアップしていく考え。

令和7年度「未来戦略」では、行財政改革推進計画アクションプランを柱として新たに、税金以外の稼ぎ出しができる成長戦略に取り組み、脱炭素社会に向けた研究により歳出抑制を研究しようとするもの。

なお、歌舞伎文化公園ふるさと会館（甲斐上野城）、歌舞伎資料館、大門碑林公園では行財政改革推進計画策定後に応援団が現れて事業化できるかどうか試行しているものもあり、検証なども踏まえ計画変更していく可能性もありますので予めご承知おきをお願い申し上げる。

本日は、行財政改革推進計画アクションプランの進捗状況について、ご議論頂き取り組みの状況のご確認をしていただければと思う。

(3) 会長挨拶

会長の挨拶の内容は、次のとおり。

本日は御多忙な中、委員の皆様には当委員会に御参集いただき感謝申し上げる。

先程、町長からの挨拶にもあったが、行財政改革の取り組みが本格化して暫く経ち、財政上の数値や新たな動きが生まれつつあり、明るい兆しが見えてきたところ。町長、教育長、統括、各課長はじめ職員全員の努力があつてこそだと思う。改めて敬意を申し上げる。

また、委員の皆さまにおかれましても厳しくも暖かい意見をいただき、様々な知見を行政も取り入れることができたと思う。改めて感謝を申し上げる。

本日は、傍聴席にて一部の議員の方々にご出席いただいている。議会を通じて、熱い議論を交わす中で行政を後押ししていただければと思う。

本日は4月から7月分までの4ヵ月分について報告いただくが、令和7年度以降も改革の取り組みは継続する必要があると思われる。そういう観点からも発言いただければと思う。

短い時間ではあるが、活発な議論の場となるよう、御協力をお願いしたい。

(4) 報告事項

統括兼財政課長より、資料に基づき令和7年8月20日に行われた財政非常事態宣言に関する「第三者公聴会」について説明。

(5) 議事

議題1 行財政改革推進計画アクションプラン進捗状況について

主な取り組みを行財政改革推進計画アクションプラン進捗状況表に基づいて所管課より説明。委員からの質疑や意見等については、次のとおり。

— 発言者 —	— 発言内容等 —
委員	【基本方針1 効率的・効果的な行政運営】 国保診療所の効果額について、資料では4,400万円の削減があるが、令和6年度決算と令和7年度当初予算の差額でよいか。
町民課長	令和6年度決算と令和7年度当初予算の差額である。内訳につきましては人件費ほか医療費の合計額である。
委員	他会計繰入繰出金での差額が本来の効果額ではないか。本項目に限らず、様々な項目で効果額を出していると思うが、必ずしもその削減だと

	読み取れない部分もあると思われる。
町民課長	まだ、4月から半年経過した段階のため、今後は毎月の報告の中で定期例の指定管理者との協議を行い検討していきたい。
委員	しっかりと進捗管理をしていただきたい。効果額は成果として町民にアピールできるものになるので、しっかりと根拠を基に計算し行革の取組状況を知ってもらえるようにしていただきたい。
委員	人事評価制度の適正な運用について、職員数の削減にも取り組む中で1人1人のモチベーション向上は重要な取り組みであると感じる。2年連続C評価となっているが、進捗状況はどうなっているか。
総務課長	職員の昇給の反映について進めていたが、町村単位では導入実績がない状況であり職員組合との協議の結果、導入は見送りとなった。
委員	町職員の業務は多種多様であり、比較・評価は難しいところ。一方でモチベーションの向上は必要と思われる所以引き続き研究していただきたい。
委員	被評価者に対する研修は過去2年未実施となっているが、今年度どういった位置づけで望まれるか 管理職登用試験の導入について、組合との協議は制度設計案の中身についての議論なのか、それとも導入そのものの議論なのか。 業務把握研修については、今年度の実施予定があるのか。
総務課長	管理職登用試験についても、導入している同規模の自治体に調査をしたところ本町の体制には適さない事から導入は見送りとなっている。 評価者研修は実施しているが、被評価者の研修は行っていない。同様の基準で評価するよう指導しているのみである。
委員	年次計画の修正が必要ではないか。計画策定時の状況も確認していただきたい。民間委員の皆さまからは被評価者向けの取り組みについて何かあるか。

委員	被評価者が評価者の評価基準を理解していないとモチベーションに繋がらない、むしろ下がってしまう。評価される研修も大事だと考える。
委員	私どもの会社でも今年度から専門業者に依頼して評価者研修と被評価者研修を実施している。また、昇格試験も今年度から導入している。
委員	研修として実施することに意味があるのか。
委員	公平な認識でいる必要があるため研修として実施するのが望ましいと考える。
委員	民間の取り組みについて紹介があったので、手つかずではない形で何らかの結論をお願いしたい。
委員	業務把握研修についてはいかがか。
総務課長	今年度実施に向け検討している状況である。
委員	理由を示せるような形で取り組みを進めていただきたい。
委員	管理職登用試験について組合と協議を継続中とのことだが、組合との合意が必要なのか。
総務課長	労使協定を締結しているので組合の賛同が必要になる。
委員	各種負担金の総点検について、表記の仕方かもしれないが一部事務組合との協議と取組成果が連動していないとうに読み取れる。情報提供のあり方等はどうなっているのか。
政策推進課長	組合には予算編成の中で調整していただいている。組合の協力もあり記載の削減効果があったということ。ご指摘のとおり、目標額の設定が明確ではなかったため今回のような表記となっている。
委員	公表される資料のため細かな説明がなくても分かるような記載となるよう工夫していただきたい。

委員	車両台数の削減について、本町にとっての公用車の適正台数は見えてきたか。また、有事の際に車両が不足した場合の対応についても併せて検討しているか。
財政課長	計画以上に削減が進んでいる。各課で管理している車両を一括して管理できるように本年の7、8月に試行的に管理システムを導入し検証を始めたところ。ご指摘のとおり、無計画に廃車してしまい不足してしまった状況もあったため、管理システムを導入しながら適正な台数の把握に努めたい。
【基本方針2 公共施設等のマネジメントの推進】	
委員	小中学校統合に係るスケジュールについては場合によっては前倒しはあるのか。また、老朽化・経年劣化による修繕箇所が頻発している状況とある中で大規模修繕は避ける形でいけるのか見通しをお願いしたい。
教育総務課長	新設統合という形で計画を進めており、検討事項や手続きに時間を要するため最低3年はかかるという見込み。施設の改修については、小規模な修繕で対応していくことが現実的と考える。
委員	示されているスケジュールで目一杯ということ理解した。修繕についても安全性は確保された上で不都合を解消していくことでよいのか。長寿命化計画と併せて、安全第一での対応をお願いしたい。
委員	学童や保育所については小中学校統合を注視しながらということだが、今後のスケジュールはどうか。
子育て支援課長	小中学校の統合を1つの目安としているため、町としての方針が決定次第、検討していきたい。その際は、保育士や地域住民と協議しながら進めていきたい。
委員	納得・合意していただけるよう丁寧な説明の中で進めていただきたいが、ある程度のスピード感を持って引き続きお願いしたい。

委員	市川南保育所は休止から1年半が経過しているが、解体等の見通しはどうなっているか。
子育て支援課長	アクションプラン上は解体としているが、保育所内の片付けに時間を要していること、備品の活用の検討、一時的な倉庫として利用したことから解体の検討は進んでいない状況。昨年度、策定された未利用財産等の利活用基本方針に基づき、検討を進めていきたい。
委員	町全体で適正なあり方を検討していただきたい。
委員	ニードスポーツセンターは年度末で休止が決定されたとあったが、つむぎの湯の10月以降のスケジュール等について補足いただきたい。
いきいき健康課長	9月議会で補正予算として計上したところ。理由としては、国との協議に時間を要したこと、空白期間を短期とすることで利用者の施設離れを防ぎサービスを継続させることで民間企業が参入しやすい状況を整えておくということが必要であると判断したため。
委員	議会の理解も得られたこと理解した。サウンディング調査の対象施設であるが、民間事業者からの提案はあったか。
いきいき健康課長	1者から打診があった。
委員	国との協議が完了以降、素早く進められるよう継続していただきたい。
委員	三珠庁舎が廃止され六郷庁舎が出張所化された結果、多少なり住民生活に影響があったかと思う。苦情等があった場合は、町HP等で改善事項を周知していただきたい。
総務課長	旧三珠庁舎の施設管理について苦情があったが、行政サービスについては今のところない状況。
委員	町民からの苦情があった場合は、お知らせをお願いしたい。
委員	取組状況を知つてもらう機会であるため、町民にも見える形で周知を

	お願いしたい。
委員	市川地区に5施設ある公民館は機能集約の余地があるとしているが、今後の検討はどのような手順で進める予定か。
生涯学習課長	段階的に公民館業務を地域へ移行できるよう精査及び計画策定を行っている。最終的には中央公民館への集約という目標だが、現時点では明確な予定はない。
委員	建物の老朽化等含めて、望ましい公民館数になるよう引き続き取り組みをお願いする。
	【基本方針3 持続可能な財政運営】
	【基本方針4 行政サービスの質の向上】
委員	財政状況の改善をみてもシーリングの効果が出ていることは見て取れる。令和9年度以降の取り組みとしてシーリングを継続するか、別の財政改善策を練っていくのか県と相談しながら方策を探っていく時期かと思う。
委員	個別No.131以降について人員不足は解消していないのか。DX推進に伴って府内全体で取り組める仕組みづくりの構築は進んでいるのか。
総務課長	DX推進の一環として各課にITリーダーを設けて、HP更新に関する研修を実施し、各課で対応できるようにしている。
委員	人員不足は現在も継続しているのか。
総務課長	人員不足については、まだ解消できていない。
委員	DX推進については全庁的どう進めていくか検討する必要があると思う。
委員	財政非常事態宣言を発出したのは町民に理解してもらいたいからだと思う。職員の皆さん一生懸命やってくれたのは分かるが、削減ばかりで夢がないように感じる。また、町民が参画する機会がないように感

	じる。ボランティアなど町民を巻き込んだ事業を実施するなど、みんなで町づくりをする姿勢がないと、町民は要望を出すだけになってしまふ。町民参加のボランティアについては第1回推進委員会でも提案させていただいている。行財政改革を進めていく上で、町民を置いてきぼりにせず、一緒にやろうという気運を醸成していく必要があると思う。町・議会が強いリーダーシップを取って欲しい。
委員	綺麗にすることは凄く重要と考える。私の会社でも月1で大掃除をしている。時間をかけて清掃するという行為は愛着も沸く。ボランティアも若者を取り込んでいくと将来的にもwin-winになると思う。そういう仕組みづくりをしてもらいたい。
委員	専門的に削減、強化することも必要だが、現状を知ってもらう中で広く町民を巻き込んでいくことも必要である。単に地域移行という形ではなく、新しい取り組みに繋げていただきたい。
委員	簡易水道の収納率について、現年収納率が低下した理由は何でしょうか。
生活環境課長	分析をして報告させていただく。
委員	よろしくお願いします。
委員	ネーミングライツに関して、企業訪問の実績はどうか。
政策推進課長	昨年度から企業版ふるさと納税、ネーミングライツ等『町の応援メニュー』を作成し企業訪問を実施している。ネーミングライツについては今年度まだ問い合わせはない状況。昨年度1件問い合わせがあったが審査の段階でお断りさせていただいている。今後は審査項目の見直しを含め、企業版ふるさと納税と併せて町長と一緒に積極的に企業訪問を行っていきたい。
委員	町有財産の有効活用について、提示された情報からだと取組の現状や到達点が読み取りにくい。継続保有方針となったことはよいが、議会に説明した活用プランとは何か、実施計画ヒアリングとは何か等、庁外者には取組内容が理解し難い。公表される資料のため、細かな前提条件が

なくとも分かるような記載を心掛けて欲しい。それを踏まえた上で、サウンディング調査はどのような状況なのか。

総務法制係長 今年の2月より町HPで物件調査を掲載させていただき、複数の企業から提案があった。また、山梨中央銀行にもお力添えをいただき、幾つかの企業を紹介していただいているがマッチングしない状況。引き続き、提案内容に添うような形で対応していきたい。

委員 サウンディング調査のため事業化に繋がるかどうかは別の話ということは理解できるが、提案内容は公表して見える化を図った方が次の応募に繋がると思う。公表の仕方あるいは処理の仕方を工夫していただきたい。

議題2 その他

その他について、質疑等はなかった。

(6) その他

- ・各アクションプランについては引き続き郵送等で報告をさせていただく。
- ・次回の推進委員会は令和8年3月下旬を予定。

(7) 閉会 午後3時30分

会議の経過を記載して、その内容が相違ないことを証するためにここに署名する。

令和 年 月 日

会議録署名人 _____ 印

会議録署名人 _____ 印